




SURROUND SPEAKERS

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
12. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
13. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ産業省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの他のシステムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、下記アドレス先を参照してください。 www.Bose.com/compliance

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤0.5W	Bose ワイヤレス ≤2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	≤2.5時間	≤20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	≤2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Regulation 801/2013 (1275/2008の「Lot 26」改正)のAnnex II 3(a)に従い、ワイヤレスポートを無効化するための要件は、「単一のワイヤレスネットワーク接続を使用目的とし、有線ネットワーク接続機能のない製品には適用されません。」	

欧州のみ:


運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz:


- Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

運用周波数帯: 5150 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz:

- Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることとなります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスの管理規制

第12条


「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
パーツ名	有毒/有害物質および成分					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Powered Speaker、型式: 429148						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○

注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、ワイヤレスレシーバーの底面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「8」は2008年または2018年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyong Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
 Phone Number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

入力定格: 100V ~ 240V \sim 50/60 Hz 30W

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Acoustimass、ADAPTiQ、Bose、Bose Bass Module、Bose Music、Bose Music ロゴ、Bose Surround Speakers、SoundTouch、および音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2018 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

内容物の確認

内容物	9
-----------	---

システムの設置

推奨事項	10
スピーカーを設置する	11

ワイヤレスレシーバーのセットアップ

アダプターを接続する	12
ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える	13
スピーカーを接続する	13

電源

Bose Surround Speakersを電源に接続する	14
--------------------------------------	----

サウンドバーへの接続

接続方法を選択する	15
Bose Musicアプリを使用して接続する	16
Bose Musicアプリを初めて使用する場合	16
SoundTouch 300のリモコンを使用して接続する	17
音が出ることを確認する	17

ADAPTiQ自動音場補正

自動音場補正の実行方法を選択する	18
Bose Musicアプリを使用してADAPTiQ自動音場補正を実行する	19
初期設定	19
設定メニューを使用する	19
SoundTouch 300のリモコンを使用してADAPTiQ自動音場補正を実行する ..	20

サラウンドスピーカーの状態

ステータスインジケータ	22
-------------------	----

補足事項

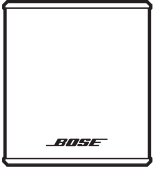
お手入れについて	23
交換部品とアクセサリ	23
保証	23

トラブルシューティング

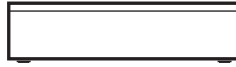
最初にお試しいただくこと	24
その他の対処方法	24
SoundTouch 300 soundbarでADAPTiQ自動音場補正を完了できない	26

内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



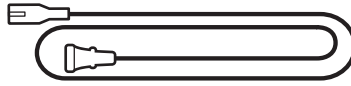
Bose Surround Speakers (2)



ワイヤレスレシーバー (2)



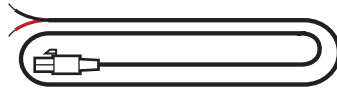
AC2アダプター (2)



電源コード (2)*



プラスドライバー



2芯スピーカークーブル(2)

*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、直ちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

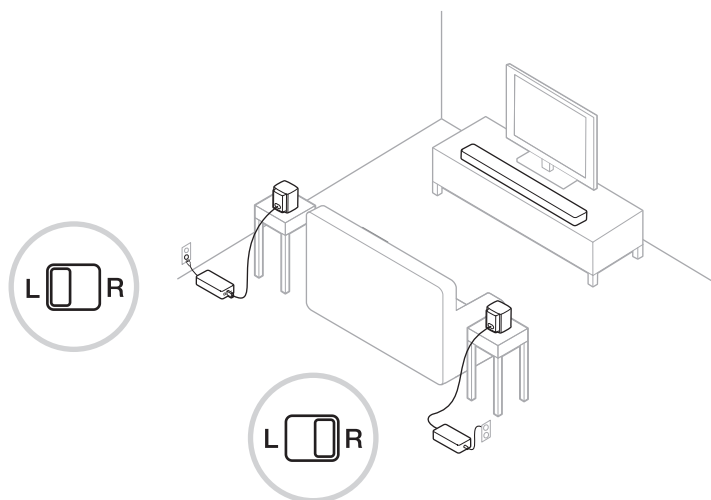
次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/WSS

推奨事項

ワイヤレス信号の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所にワイヤレスレーザーを設置してください。スピーカーとワイヤレスレーザーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。また、キャビネットの中には置かないでください。

コンポーネント 設置ガイド

<p>リアスピーカー</p>	<p>スピーカーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。</p> <p>部屋の後ろ側で、耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。</p> <p>本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。</p> <p>リスナーに音が直接伝わるようにする場合は、リスナーの背中に向けてスピーカーを設置します。</p> <p>壁の反射を利用する場合は、リスナーの後方または横にある壁に向けてスピーカーを設置します。</p>
<p>ワイヤレスレーザー</p>	<p>一方のワイヤレスレーザーのスイッチがR (右)になっていることを確認します。</p> <p>もう一方のワイヤレスレーザーのスイッチがL (左)になっていることを確認します。</p> <p>テレビに向かって、部屋の右側にスピーカーとR側のワイヤレスレーザーを設置します。</p> <p>テレビに向かって、部屋の左側にスピーカーとL側のワイヤレスレーザーを設置します。</p> <p>電源コンセントが近くにある場所にワイヤレスレーザーを設置してください。</p>



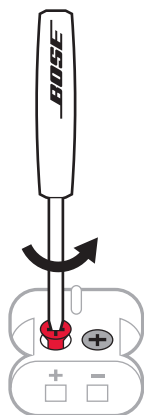
スピーカーを設置する

スピーカーは、壁掛けブラケット、天井用ブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めください。

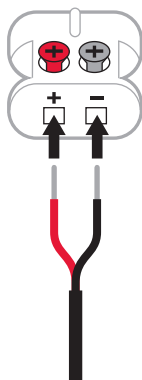
注意: スピーカーを設置する際は、ボーズ純正のアクセサリーのみを使用してください。純正以外のアクセサリーを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。

アダプターを接続する

1. ドライバーを使用して、ネジを左(反時計回り)に回して端子を緩めます。



2. 2芯ケーブルの赤い方(+ マークのある方)の先バラ線を赤の + 端子に差し込みます。
3. 2芯ケーブルの黒い方の先バラ線をシルバーの - 端子に差し込みます。



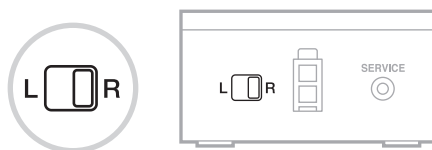
注: ケーブルの被膜部分を端子で挟まないように、剥き出しになったワイヤー部分のみを端子に差し込んでください。

4. ドライバーを使用して、ネジを右(時計回り)に回してケーブルを端子に固定します。
5. 手順1から4を繰り返して、もう1個のアダプターも取り付けます。

ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える

スピーカーは、接続されたワイヤレスレシーバーを介してBose Soundbar 500、Bose Soundbar 700、またはSoundTouch 300 soundbarと通信します。レシーバーは工場出荷時にあらかじめL(左)側とR(右)側のチャンネルに設定されています。チャンネルの設定は、レシーバーの前面にあるスイッチを切り替えることによって変更できます。

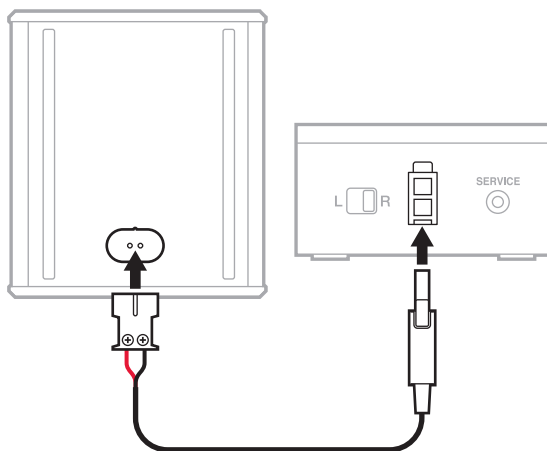
1. 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**L(左)**になっていることを確認します。
2. もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**R(右)**に設定されていることを確認します。



注: 必ず、1台のワイヤレスレシーバーを**L(左)**チャンネルに、もう1台を**R(右)**チャンネルに設定してください。

スピーカーを接続する

1. スピーカー背面の端子にアダプターを差し込みます。
2. 2芯ケーブルの反対側をワイヤレスレシーバーに差し込みます。

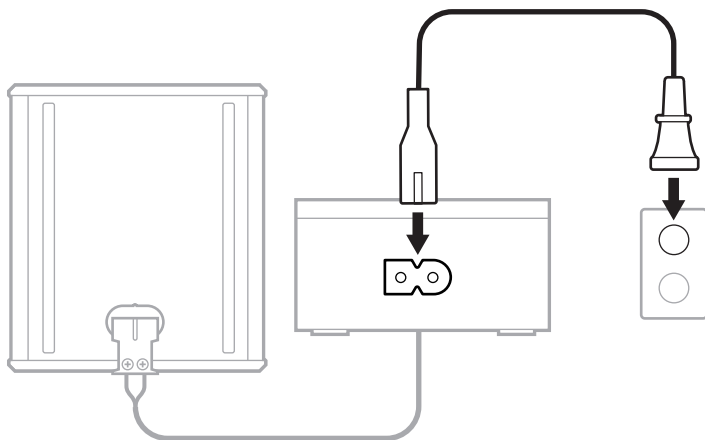


しっかり差し込むと、カチッと音が聞こえるか、指先に感触があります。

3. 手順1～2を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

BOSE SURROUND SPEAKERSを電源に接続する

1. ワイヤレスレシーバーに電源ケーブルを接続します。



2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。
3. 手順1～2を繰り返して、もう一方のスピーカーも電源に接続します。

接続方法を選択する

サラウンドスピーカーを接続する方法は、サウンドバーによって異なります。下の表から、接続方法を選択してください。

サウンドバー	接続方法
Bose Soundbar 500または Bose Soundbar 700	Bose Musicアプリを使用して接続します(16ページを参照)。 注: Bose Musicアプリを使用してアクセスできない、または接続に問題がある場合は、「トラブルシューティング」(24ページ)をご覧ください。
SoundTouch 300 soundbar	サウンドバーのリモコンを使用して接続します(17ページを参照)。

BOSE MUSICアプリを使用して接続する

1. Bose Musicアプリの[My Bose]画面で、サウンドバーを選択します。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. [設定] > [アクセサリースピーカー] > [Bose アクセサリースピーカーの追加]をタップします。

アプリの手順に従ってください。

Bose Musicアプリを初めて使用する場合



1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。

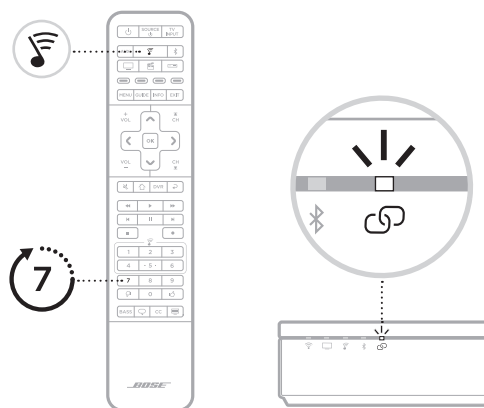


2. アプリの手順に従ってください

注: Bose Musicアプリに関するサポート情報は、次のサイトをご参照ください。
global.Bose.com/Support

SOUNDTOUCH 300のリモコンを使用して接続する

1. サウンドバーのリモコンのSoundTouch ボタン  を押します。
2. サウンドバーの接続インジケータ  が白に点滅するまで 7 ボタンを長押しします。



接続すると、ビープ音が聞こえます。ワイヤレスレシーバーの背面にあるインジケータとサウンドバーの  インジケータが白に点灯します。

注: 接続には数分かかる場合があります。

サラウンドスピーカーとサウンドバーを接続できない場合は、24ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

音が出ることを確認する

注: 音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
 - a. 接続機器の電源をオンにします。
 - b. 機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。
3. サウンドバーの電源をオンにします。

サラウンドスピーカーから音が出ていることを確認します。

注: サラウンドスピーカーから音が出ない場合は、25ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

サラウンドスピーカーの設置とサウンドバーとの接続が終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTiQ 自動音場補正を実行します。ADAPTiQ 自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTiQ 自動音場補正は、最適な音場にするためにADAPTiQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

ADAPTiQシステム用ヘッドセットがお手元にはない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

自動音場補正の実行方法を選択する

ADAPTiQ 自動音場補正の実行方法はサウンドバーによって異なります。下の表から、自動音場補正の実行方法を選択してください。

サウンドバー	自動音場補正の実行方法
Bose Soundbar 500 または Bose Soundbar 700	Bose Music アプリを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行します (19 ページを参照)。
SoundTouch 300 soundbar	サウンドバーのリモコンを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行します (20 ページを参照)。

BOSE MUSIC アプリを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行する

初期設定

サラウンドスピーカーをサウンドバーに接続すると、Bose Music アプリに ADAPTiQ 自動音場補正の実行を求めるメッセージが表示されます。アプリの手順に従ってください。

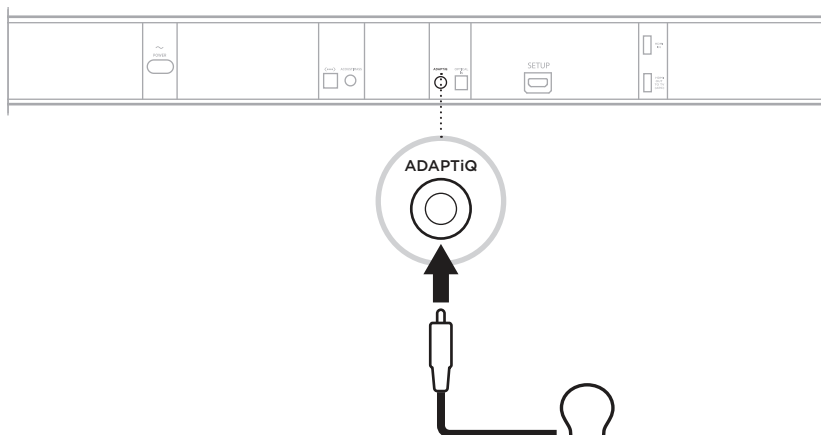
設定メニューを使用する

オプションの Bose Bass Module 500、Bose Bass Module 700、または Acoustimass 300 bass module を後で接続した場合や、スピーカーや家具を移動した場合は、ADAPTiQ 自動音場補正を実行して音質を調整します。





1. Bose Music アプリの **[My Bose]** 画面で、サウンドバーをタップします。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. **[設定]** > **[ADAPTiQ]** > **[ADAPTiQ の実行]** をタップします。

SOUNDTOUCH 300のリモコンを使用してADAPTIQ自動音場補正を実行する

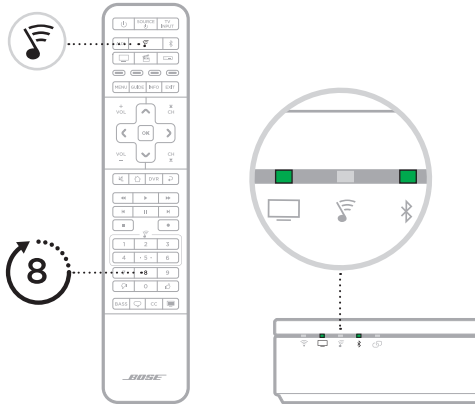
1. ADAPTIQ用ヘッドセットのケーブルを SoundTouch 300 soundbarの背面にあるADAPTIQ端子に接続します。



2. ADAPTIQ用ヘッドセットを装着します。

3. サウンドバーのリモコンのSoundTouchボタン  を押します。
4. サウンドバーのテレビインジケータ  およびBluetoothインジケータ  が緑に点灯するまで8ボタン  を長押しします。

ADAPTiQ自動音場補正が始まります。



注: 音声ガイドが日本語でない場合は、ナビゲーションパッドの \wedge ボタンや \vee ボタンを押して言語を変更します。言語をリセットするには、8ボタンを10秒間長押しします。

5. 音声ガイドに従い、ADAPTiQ自動音場補正を完了します。

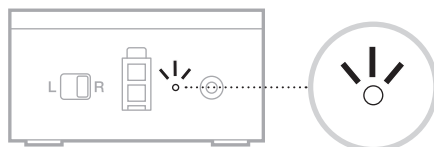
エラーメッセージが聞こえてADAPTiQによる自動音場補正を完了できない場合は、26ページをご覧ください。

6. ADAPTiQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

ヒント: オプションのBose Bass Module 500、Bose Bass Module 700、またはAcoustimass 300 bass moduleを後で接続した場合や、スピーカーや家具を移動した場合は、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行して音質を調整します。

ステータスインジケータ

ワイヤレスレシーバー背面のインジケータには、システムの状態が表示されます。



インジケータの状態	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
白の点滅	ソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
オレンジの点灯(暗い)	サウンドバーへの接続が解除されています
オレンジの点滅	サウンドバーに接続できません
赤の点滅	エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

お手入れについて

サラウンドスピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

サラウンドスピーカーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

サラウンドスピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。

溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/WSS

保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

サラウンドスピーカーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。

すべてのケーブルをしっかりと接続します。

ワイヤレスレシーバーのステータスインジケータを確認します(22ページを参照)。

サラウンドスピーカーとサウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。

設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(10ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/WSS

症状	対処方法
モバイル機器でBose Musicアプリが動作しない	Bose Musicアプリがお使いの機器と互換性があることを確認してください。 次のサイトをご参照ください。 global.Bose.com/Support
サラウンドスピーカーとサウンドバーを接続できない	ステータスインジケータがオレンジに点滅し、ワイヤレスレシーバーが接続可能な状態であることを確認します(22ページを参照)。 接続の手順を繰り返します(15ページを参照)。 ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。

症状

対処方法

<p>音が途切れる/ 聞こえない</p>	<p>システムのミュートを解除します。</p> <p>音量を上げます。</p> <p>サウンドバーで音が出ていることを確認します。音が出ていない場合は、サウンドバーの取扱説明書の「トラブルシューティング」をご確認ください。</p> <p>Bose Soundbar 500: worldwide.Bose.com/Support/SB500</p> <p>Bose Soundbar 700: worldwide.Bose.com/Support/SB700</p> <p>SoundTouch 300 soundbar: global.Bose.com/Support/ST300</p> <p>ステータスインジケータが白に点灯し、サラウンドスピーカーがサウンドバーに接続されていることを確認します(22ページを参照)。</p> <p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>接続の手順を繰り返します(15ページを参照)。</p> <p>一方のワイヤレスレシーバーがL(左)チャンネルに設定され、もう一方がR(右)チャンネルに設定されていることを確認します(13ページを参照)。</p> <p>赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。</p> <p>設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(10ページを参照)。</p>
<p>サラウンドスピーカーの音質が良くない、音が歪む</p>	<p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(10ページを参照)。</p> <p>赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。</p> <p>スピーカーをキャビネット内や棚に置く場合は、最適なオーディオ性能を得るために、できるだけ棚の前面に近づけてください。</p> <p>ADAPTiQ自動音場補正を実行します(18ページを参照)。</p> <p>注: ADAPTiQシステム用ヘッドセット(サウンドバーに付属)がお手元ない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。</p>
<p>サラウンドサウンドが聞こえない</p>	<p>テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します(テレビの取扱説明書をご覧ください)。</p> <p>一方のワイヤレスレシーバーがL(左)チャンネルに設定され、もう一方がR(右)チャンネルに設定されていることを確認します(13ページを参照)。</p> <p>赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。</p>

SOUNDTOUCH 300 SOUNDBARでADAPTiQ自動音場補正を完了できない

SoundTouch 300 soundbarでADAPTiQ自動音場補正を完了できない場合は、音声ガイドで次のエラーメッセージを確認します。

エラーメッセージ	症状	対処方法
1	ADAPTiQ用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	すべてのケーブルをしっかりと接続します。 ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルを外して、サウンドバーのADAPTiQ端子にしっかりと接続し直します。 ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれていないことを確認します。 ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。
2	室内がうるさすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットをスピーカーから離します。
4	測定するリスニングポジションが近すぎます。	既に測定したリスニングポジションから30～60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります(18ページを参照)。

このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。

